

## 平成25年度 びふかニューパブリック協議会 開催結果

会議名称	第1回びふかニューパブリック協議会
開催日時	平成25年5月27日(月曜) 午前10時30分～午前11時30分
開催場所	美深町役場 2階大会議室
出席者数	委員：15人中13人出席、事務局：4人 合計17人
<b>1 開会あいさつ ～美深町副町長 今泉和司</b>	
<p>町長が公務で出張中であり代わってあいさつしたい。ようやくあたたかくなり農作業も急ピッチ。天気も良く忙しい時間帯の会議の出席に感謝。          ニューパブリック協議会の25年度事業のスタート。新しい公共として23年度に設立、数度の協議を重ね買い物弱者への支援、見守りをどう進めるか協議を進め、着実に事業進んでいるがまだまだPR不足もある。ますますこういう事業が必要になるが、行政だけでは進められないので皆さんと一体となって進めたい。短い時間での会議だがご協力をお願いしたい。</p>	
<b>2 協議会の委員について</b>	
<p>2年間の任期を終え、今年度から新しい委員となり、各団体から選出していただいた。新たに民生委員協議会が加わっている。事務局長からそれぞれ紹介した。          (1) 委員の紹介 (2) 事務局体制 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span>のとおり</p>	
<b>3 会議の成立</b>	
<p>委員 15人中 13出席          会議成立条件は委員3分の2以上の出席であり、事務局長から成立を宣言。</p>	
<b>4 会長の選出(第5条第1項)、会長代理指名(第5条第3項)</b>	
<p>副町長が仮議長となり進行。選出方法について意見がなく、事務局副案を提案。園部一正商工会長を会長に推薦し承認された。会長代理は、園部会長から本平武士自治会連合会長を指名し承認された。  <u>          </u>          会 長      園部一正(美深町商工会)          会長代理   本平武士(美深町社会福祉協議会)</p>	
<b>5 会長あいさつ</b>	
<p>指名により再任された。副町長から話があったようにこの協議会はまだまだ発展させたい。まだまだ多くの方に登録いただいて発展させたいので、委員の皆様には貴重なご意見をいただいて実のある協議会にしていきたい。</p>	
<b>6 経過報告</b>	
<p>事務局から下記の2点について資料に基づき説明し、質疑なく確認された。          (1) 平成23～24年度の事業経過 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span>          (2) 平成24年度決算及び監査報告 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span> (財務規定第9条)</p>	
<b>7 議事</b>	<b>第1号 専門部会の設置(第6条)、専門部長の指名(第6条第3項)</b>
	<p>事務局：事業を進める上で実務的な部分を担当者に集まっていたいて進めるため前回同様専門部会を設置してすすめたい。部長は会長が指名することになっているので、指名をお願いしたい。          会長：前回同様秋山商工会事務局長を指名したい。          専門部長    秋山裕保(美深町商工会事務局長)  <span style="color: blue;">▶ 異議なく承認された</span></p>

## 第2号 監査の選任について (第9条)

事務局：要綱で2人置くこととなっており、会長が指名する。協議会の会計は監査を受けて協議会の承認を得ることになる。

会長：監査に越智自治連事務局長と森元民生委員を指名したい

監査 越智茂信(自治会連合会事務局長)

監査 森元康好(美深町民生委員協議会委員)

▶ 異議なく承認された

## 第3号 事業実施について

事務局：事業計画等について資料に基づき説明

(1) 平成25年度事業計画(案) 資料4

(2) 平成25年度収支予算(案) 資料5

<質疑・意見>

園部会長：事業計画及び収支予算について説明があったが質問はあるか。  
隊員の謝金についてはどうなるか。

事務局：協力隊員の経費、報酬、研修費などについては、総務省の事業を活用し美深町が主体になって採用して運用するため、一般会計で予算を措置している。宅配事業に関係する隊員は2人。そのほか昨年から1人、今年度2人がすでに着任しており、全部で5人が活躍してくれる。活動拠点事務所については、宅配の受付を行うため必要。観光業務にも協力してもらうことを想定しており、そちらを活用することを考えている。

園部会長：この事業をできるだけ負担をかけずに事業を行うため、協力隊を活用して総務省の支援を受けたいということ。2人募集していると思うが状況はどうなっているか。

事務局：2人の申し込みがあった。近日中に面接したい。

委員：委託料はシルバーに委託している。今は利用が少ない状況であるが、4ヶ月で80万ということは月20万円を払っていくということか。

事務局：土日も含め宅配しており、すべて受付から待機をさせている状況。実際には71万円で委託しているが委託料として支払うもの。

委員：協力隊員について3大都市圏から来るとのことだが、大事なコミュニケーションを取る業務なのでこういった方が応募してきている状況なのか。

事務局：募集は2人で行っており、HPやリクルートのページを活用。大学生が対象でもあり90人近くエントリーはあるが、大学4年生がおおい状況。何人かメールで案内などもしている。現在申し込みあったのはひとは42歳女性、札幌市から。外国の経験があり英語も話せるかた。ひとは27歳、男性で青森から。大型2種免許など持っており、美深町での交通サービスなどの起業にも意欲を見せている。問題がなければその二人で決定することになる。二人とも独身。

園部会長：見守り業務も担うため、しっかり選考してほしい。

委員：40人のうち、障害者の利用はあるか。障害者も該当になるか。

事務局：障害があるかどうかの区分はしていない。申し込みがあった65歳以上で援助が必要な世帯を対象にしている。いまのところ65歳以下はいない。障害者世帯の利用者も考えていきたい。

委員：利用者の状況についてアンケートなど必要でないか。商工会女性部内の話では、これまでの常連だと登録者であっても店での配達など対応している。配達の時間が良く分からないなどの利用者もいたようである。きちっとした説明がどうなっているか。

事務局：アンケートはニューパブリックとしてはまだやっていない。ある程度経過したので、一度は行いたいと考えている。専門部会で協議して実施したい。

配達の時間は手引を渡してあるが、解りづらい。隊員が来たら一回顔を出してもらって説明も行いたい。

園部会長：今後も皆さんの意見を聞きながら良い協議会にしたい。老人クラブで意見等は出ているか。

委員：私は利用する立場でもある。活用している。

▶ 承認された

## 資料 1

## びふかニューパブリック協議会委員（平成 25～26 年度）

	所 属	職 名	氏 名	役 職
1	美 深 町 商 工 会	会 長	園 部 一 正	会 長
2		女 性 部 長	菅 野 明 美	会 長 代 理
3	美 深 町 社 会 福 祉 協 議 会	会 長	本 平 武 士	
4		理 事	宇 野 育 子	
5	美 深 町 自 治 会 連 合 会	副 会 長	伊 東 武 雄	
6		事 務 局 長	越 智 茂 信	
7	美 深 町 自 治 会	副 会 長	佐 藤 町 子	
8		監 事	吉 田 陽 子	
9	美 深 町 民 生 委 員 協 議 会	委 員	森 元 康 好	
10		委 員	小 野 寺 憲 子	
11	美 深 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会	副 会 長	十 亀 孝	
12		副 会 長	匂 坂 澄 子	
13	美 深 町	副 町 長	今 泉 和 司	
14		住 民 生 活 課 長	瓜 田 晃	
15		産 業 施 設 課 長	木 戸 一 博	

## 専門部

	所 属	職 名	氏 名	役 職
1	美 深 町 商 工 会	事 務 局 長	秋 山 裕 保	専 門 部 長
2	美 深 町 社 会 福 祉 協 議 会	事 務 局 長	阿 部 和 憲	
3	美 深 町 民 生 委 員 協 議 会	高 齢 者 部 会 長	十 亀 孝 宣	
4	美 深 町	生 活 環 境 グ ル ー プ 主 幹	望 月 清 貴	
5		保 健 福 祉 グ ル ー プ 主 幹	山 崎 義 典	
6		商 工 観 光 係 長	田 畑 尚 寛	

## 事務局（総務課企画グループ）

	所 属	職 名	氏 名	役 職
1	美 深 町 総 務 課	課 長	渡 辺 英 行	事 務 局 長
2	総 務 課 企 画 グ ル ー プ	主 幹	玉 置 一 広	事 務 局 員
3		副 主 幹 (企 画 係 長)	小 林 一 仙	
4		主 事	寒 藤 亮 太	

# ひふかニューパブリック協議会について

資料 2

## ＜平成22年度＞

- これまで行政が独占してきた領域を「公（おおやけ）」に開くことや、官だけでは実施できなかった領域を官民協働で担う取り組みを進めることで、住民の暮らし・生活の向上を推進するため、国は、都道府県や市町村に「新しい公共」の確立が図られる支援事業を創設

## ＜平成23年度＞

- 北海道においては、これら国の予算措置を受け全道の市町村に対し「新たな公共支援事業【新しい公共の場づくりのモデル事業】」を募集。
- 美深町では、過疎化の進行や産業経済の停滞により、商店、企業の廃業など、住民の身近な生活にかかわる消費活動への支障や、地域住民の高齢者世帯特に独居老人世帯の増加に対応する見守り活動などが必要とされてきている傾向。
- 地域活動の多様な担い手と行政が連携して、上記の課題を解決し地域住民の生活環境の向上を図るため、調査・研究、実践する団体として、平成23年6月1日ひふかニューパブリック協議会を組織、「新たな公共支援事業」を推進する体制を構築。
- 平成23年7月「北海道新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の採択を受ける。全道で18市町村が採択。
- 平成23年度：買い物支援調査、視察事業の実施
- 平成24年度：買い物支援実証事業、システム構築、車輛購入

# 経過報告

## 資料 2

### <平成23年度実施事業>

○事業費4,190千円

(1)協議会の開催 4回

(2)美深町買い物支援調査・計画業務委託

a 買い物支援調査業務

・65歳以上の高齢者世帯のアンケート調査、分析、集計

b 買い物支援事業化計画書作成、事業化支援

② 実施方法

a 委託事業者：(株)ぎょうせい

b 委託期間：H23.9.7～H24.3.30

c 委託金額：2,992,500円

(3)ニューパブリック協議会視察事業

① 視察期間 平成24年2月16日～18日

② 視察委員 秋山裕保専門部会部長ほか4人

③ 視察先

ア 東京都日野市豊田商店街

・買い物支援モデル事業について

イ 長野県佐久市岩村田本町商店街振興組合

・買い物弱者支援モデル事業、ほか

(4)防災端末機を利用した買い物支援システム検討

① 実施日 平成24年2月23日

第2回協議会の際

② デモ業者 (株)アイ・コミュニケーション

### <平成24年度実施事業>

○事業費4,493千円

(1)協議会の開催 2回

(2)美深町買い物支援・宅配サービスの実施

① 店舗説明会の実施及び参加店舗の登録

② 宅配利用者の登録

③ 高齢者支援事業委託業務

委託期間：H24.12.11～H25.3.30

委託料：1,562,000円

受託者：美深町シルバー人材センター

宅配実施：H24.12.25から開始

a 配達件数 90日間

	12月	1月	2月	3月	計
午前便	4	8	24	14	50
午後便	1	8	5	9	23
計	5	16	29	23	73
実人数	3	8	16	10	37

b 高齢者登録 平成25年12月25日から  
3月末現在利用登録総数 39件

(3)宅配用車両の購入(補助対象外)

車種：スバルサンバーバン・トランスポーター

納車日：平成24年7月19日

購入価格：1,572,420円

(4)防災情報端末機子局管理端末設定業務委託

委託期間：H25.3.19～H25.3.28

委託料：745,500円

受託者：日本コムシス株式会社

## びふかニューパブリック協議会事業 経過報告

## 1 平成 23 年度事業

実 施 期 間	平成 23 年 8 月 20 日～平成 24 年 3 月 30 日												
事 業 費	<p>【総事業費】 4,190,008 円</p> <p>【支援額】 4,190,000 円 (北海道新しい公共支援事業モデル事業補助金)</p> <p>【自主財源】 8 円</p> <hr/> <p>【経費内訳】</p> <table> <tr> <td>諸謝金</td> <td>237,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>510,580 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>445,198 円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>4,730 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>2,992,500 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,190,008 円</td> </tr> </table>	諸謝金	237,000 円	旅費	510,580 円	消耗品費	445,198 円	通信運搬費	4,730 円	委託料	2,992,500 円	合計	4,190,008 円
諸謝金	237,000 円												
旅費	510,580 円												
消耗品費	445,198 円												
通信運搬費	4,730 円												
委託料	2,992,500 円												
合計	4,190,008 円												
会 議 開 催 状 況	<p>【構成団体】</p> <p>○美深町商工会・美深町社会福祉協議会・美深町自治会連合会・美深町自治会女性部連絡協議会・美深町老人クラブ連合会 以上 5 団体及び町行政の 6 者</p> <p>○協議会体制：委員 13 人</p> <p>【開催状況】</p> <p>H23. 8. 22 第 1 回協議会 12 人～協議会設立、会長の選出、事業計画概要等協議</p> <p>H24. 1. 27 第 2 回協議会 10 人～アンケート結果、事業方針、視察について</p> <p>H24. 2. 23 第 3 回協議会 12 人～視察報告、買い物支援システムについて</p> <p>H24. 3. 28 第 4 回協議会 13 人～計画素案について</p>												
事 業 概 要	<p>車両の移動販売による高齢者等の買い物の不自由を解消し、地場製品の消費を促すとともに、高齢者世帯への訪問等による安否確認、更には生活支援のためのコーディネートを行う事業の調査・検討・実践を段階的に推進する。</p>												
事 業 内 容	<p>(1) 美深町買い物支援調査・計画業務委託</p> <p>広大な土地を有する本町における買い物等の実態を見極めるとともに、生活の課題解消に向けた事業の展開によって、本町での快適な生活の醸成を図るとともに産業・経済の復活の一助とするため、新たな公共支援事業を活用した住民と行政の組織による過疎地域生活支援のための計画を策定するための調査を行った。</p> <p>① 調査内容</p> <p>a 買い物支援調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 65 歳以上の高齢者世帯のアンケート調査、分析、集計</li> </ul> <p>b 買い物支援事業化計画書作成、事業化への支援</p> <p>② 実施方法</p> <p>a 委託事業者：(株)ぎょうせい 代表取締役社長 澤田裕二郎</p> <p>b 委託期間：平成 23 年 9 月 7 日～平成 24 年 3 月 30 日</p> <p>c 委託金額：2,992,500 円</p> <p>&lt;効果&gt;</p> <p>○ 調査結果を基に高齢者の荷物運搬回避など重労働の回避するための方策を検討し、今後の事業展開をまとめた計画書を作成した。</p> <p>○ 高齢者の安否確認や生活コーディネート実現など、買い物支援と併せて高齢者世帯が安心して生活できる地域形成に向け、高齢者のニーズと実態を把握することができた。</p> <p>(2) ニューパブリック協議会視察事業</p>												

	<p>① 視察期間 平成 24 年 2 月 16 日～18 日          ② 視察委員 秋山裕保専門部会部長ほか 4 人          ③ 視 察 先 ア 東京都日野市豊田商店街          ・ 買い物支援モデル事業について          イ 長野県佐久市岩村田本町商店街振興組合          ・ 買い物弱者支援モデル事業、ほか</p> <p>&lt;効果&gt;          ○ 買い物支援の先進事例を学び、実証に向けての課題などを把握することができた。</p> <p>(3) 防災端末機を利用した買い物支援システムの検討          ① 実施日 平成 24 年 2 月 23 日 第 2 回協議会の際          ② デモ業者 (株)アイ・コミュニケーション</p> <p>&lt;効果&gt;          ○ 端末機の特徴や画面イメージ、機能について確認しながら、高齢者が利用する際の課題や周知の方法などについて協議した。</p>
得られた成果及び自己評価	<p>地域住民・商工業者団体・行政で構成する「びふかニューパブリック協議会」が設立され、主体となって食料品等生活雑貨の巡回販売と高齢者世帯の見守りのための訪問、高齢者世帯の生活にかかわる課題解決のためのコーディネート等をセットで解決する事業を研究した。</p> <p>当初は、町全体の動向から見て、高齢者が確実に増えている状況にあり、高齢者が安心して生活できる環境づくりのための日常生活を支える買い物サポートや見守り活動が重要なテーマと考えていたが、アンケートの結果によると買い物行動に対しては大きな問題は顕在化していないことが明らかになった。</p> <p>しかし、高齢者の生活を支える各種サービスへの要望は少なくなく、中でも高齢者が気軽に歩き、買い物を楽しむための支援として、買い物後の荷物宅配サービスや、店舗に向かなくても買い物ができる情報端末機などを利用したサービスの必要性が協議会として共通の認識となったことは一定の成果であった。</p> <p>今後は、こうしたサービスの充実と併せて、交通ネットワークの充実による移動の利便性向上にも取り組み、高齢者の買い物・運搬の徒労を取り除き、また、食品の確保・摂取による健康の維持や高齢者の安否確認、などを展開し、住みよいまちづくりにつなげたい。</p>

## 2 平成 24 年度事業

実施期間	平成 24 年 5 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日																																	
事業費	<table border="0"> <tr> <td>【総事業費】</td> <td>4,492,043 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【支援額】</td> <td>2,898,928 円</td> <td>(北海道新しい公共支援事業モデル事業補助金)</td> </tr> <tr> <td>【自主財源】</td> <td>1,593,115 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"><hr/></td> </tr> <tr> <td>【経費内訳】</td> <td>諸謝金</td> <td>104,120 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td>62,640 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>371,628 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通信運搬費</td> <td>53,040 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>委託料</td> <td>2,307,500 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施設等設備費</td> <td>1,593,115 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>4,492,043 円</td> </tr> </table>	【総事業費】	4,492,043 円		【支援額】	2,898,928 円	(北海道新しい公共支援事業モデル事業補助金)	【自主財源】	1,593,115 円		<hr/>			【経費内訳】	諸謝金	104,120 円		旅費	62,640 円		消耗品費	371,628 円		通信運搬費	53,040 円		委託料	2,307,500 円		施設等設備費	1,593,115 円		合計	4,492,043 円
【総事業費】	4,492,043 円																																	
【支援額】	2,898,928 円	(北海道新しい公共支援事業モデル事業補助金)																																
【自主財源】	1,593,115 円																																	
<hr/>																																		
【経費内訳】	諸謝金	104,120 円																																
	旅費	62,640 円																																
	消耗品費	371,628 円																																
	通信運搬費	53,040 円																																
	委託料	2,307,500 円																																
	施設等設備費	1,593,115 円																																
	合計	4,492,043 円																																
会議開催状況	<p>【構成団体】          ○美深町商工会・美深町社会福祉協議会・美深町自治会連合会・美深町自治会女性部連絡協議会・美深町老人クラブ連合会 以上 5 団体及び町行政の 6 者          ○協議会体制：委員 13 人</p> <p>【開催状況】          H24.5.10 第 1 回専門部会 9 人～買い物支援、システム構築、見守りについて          H24.5.14 第 1 回協議会 19 人～買い物支援、システム構築、見守りについて          H25.2.26 第 2 回協議会 18 人～事業実施状況、25 年度事業計画について</p>																																	

事業概要	<p>宅配サービスによる高齢者等の買い物の不自由を解消し、地場製品の消費を促すとともに、高齢者世帯への安否確認を行う見守り事業、更には防災情報端末を活用した支援システムの構築に取り組む。</p>																														
事業内容	<p><b>(1) 美深町買い物支援・宅配サービスの実施</b></p> <p>広大な土地を有する本町において、高齢者等が生活する上での不安要因となっている買い物について、宅配の実施によって荷物運搬など重労働回避による負担軽減を図るとともに、地元消費の拡大につなげることができた。また、事業の実施にあたっては町内商工業者に事業説明を行うことで、小売店以外からの参加もみられるなど高齢者の安心な暮らしの実現に向けた福祉と商工業の連携について理解がみられた。</p> <p>① 店舗説明会の実施及び参加店舗の登録</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宅配事業に協力する店舗と登録するため、説明会を行った。 開催日：平成24年8月28日19時から 対象：美深町商工会員 175事業者 参加者数：18事業所19人、商工会事務局3人</li> <li>・ 登録店舗数：26店舗(商業部会20店、サービス業部会2店、工業部会4店)</li> <li>・ 登録店舗表示のため、ミニのぼり、のぼり、ステッカーを作製して配布した。</li> </ul> <p>② 宅配利用者の登録</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 65歳以上の独居世帯を中心に郵送で案内し利用登録を行った。 利用登録の案内：平成24年11月5日 383世帯 対象：町内在住の65歳以上独居高齢者 登録者数：平成24年12月25日時点(宅配開始日) 23人</li> </ul> <p>③ 高齢者支援事業委託業務</p> <p>委託期間：平成24年12月11日～平成25年3月30日 委託料：1,562,000円 受託者：公益社団法人 美深町シルバー人材センター</p> <p>業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 買い物商品配達業務～利用者が購入した商品を店舗から自宅へ配達</li> <li>b 高齢者見守り業務～配達時に高齢者への声かけを実施</li> <li>c 高齢者登録業務～対象者への直接説明による利用登録</li> </ul> <p>実績</p> <p>a 配達件数 90日間</p> <table border="1" data-bbox="499 1265 1297 1435"> <thead> <tr> <th></th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>午前便</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>午後便</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> <p>b 高齢者登録 実施日 平成25年12月25日から 3月末現在利用登録総数 39件</p> <p>④ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 買い物の際の荷物の誤配送を防ぐため、利用登録番号札、レジバック及び買い物用保冷バックを作成し、利用登録者に配付した。配付は登録の都度随時宅配事業者(シルバー人材センター)が行った。</li> <li>イ 高齢者が安心して配達・訪問を受けられるように宅配事業者であることを明確化するため、スタッフブルゾンを作成し着用した。</li> <li>ウ 宅配物の安全輸送のため配達用買い物かごを車両に装備した。</li> </ul> <p>&lt;効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の登録を行って宅配事業を実施した。当初は登録数が少ないままスタートしたものの、委託による電話説明や店舗でのPR、口コミ、報道を通して徐々に登録数が増加した。1日平均で0.8人利用ではあるが定着しつつあり、今後の拡大が期待される。</li> <li>○ 店舗の利用状況では、スーパー2件の利用に限られた結果となっており、主に食料品の買い物に利用されている。売り出し時の利用が多い状況であり、多量の荷物運搬になど重労働回避につながった。</li> <li>○ 登録店舗は26店と少ないが、実際には利用される見込みがない工業部会からの登録もあった。これは全店舗を対象に資料配布及び説明会を開催したことによって、商工業者が事業の趣旨に一定の理解を示してくれたものと考えている。</li> </ul>		12月	1月	2月	3月	計	午前便	4	8	24	14	50	午後便	1	8	5	9	23	計	5	16	29	23	73	実人数	3	8	16	10	37
	12月	1月	2月	3月	計																										
午前便	4	8	24	14	50																										
午後便	1	8	5	9	23																										
計	5	16	29	23	73																										
実人数	3	8	16	10	37																										



	<p>○ 今年度行った事業を基盤に、来年以降も事業を継続することが協議会で確認された。高齢者の安否確認や生活コーディネート実現など、買い物支援をきっかけにした高齢者世帯が安心して生活できる地域形成づくりに向けて、地域・関係団体に一定の合意ができたことは大きな成果である。</p> <p>(2) <b>宅配用車両の購入(補助対象外)</b>      宅配事業を円滑に実施するため、宅配専用車両を1台を購入した。      車種：スバルサンバーバン・トランスポーター      納車日：平成24年7月19日      購入価格：1,572,420円 購入先：(有)田中モーターズ      車両は軽運送業の登録車両とした。(黒ナンバー)</p> <p>&lt;効果&gt;      ○ 専用車両の配備により宅配事業を円滑に実施できた。      ○ デザインに特徴を持たせたことによって、住民への周知効果があった。</p> <p>(3) <b>防災端末機を利用した買い物支援システムの検討</b>      23年度に、防災情報端末機を活用した買い物システムの特徴や画面イメージ、機能について確認したところであるが、実際の運用にあたってのシステム改修を具体的に協議した。システムを利用したの買い物発注は、掲載商品の管理が難しいことや利用者が実際に手にとって商品を選択したいとのこと、さらに次年度以降もシステムのランニングコストがかかることがネックとなり導入を見送った。      一方で、見守りの部分では防災情報端末機配信によって比較的容易に高齢者が回答できることから導入することとし、必要なシステム改修を委託した。</p> <p>H24. 12 NTT担当者システム設計協議・業務イメージ検討      システム運用課題確認      H25. 2 NTT担当者システム構築経費について協議      H25. 3 利用者等との協議      高齢者の方々が安心して暮らせる整備が必要との声があったことから、買い物支援システムの導入を見送り、安否確認システムの構築を検討し、整備を決定。</p> <p>① 防災情報端末機子局管理端末設定業務委託      利用者に対して町から毎日安否確認のお知らせを防災情報端末機で配信し、返信ボタンによって回答する仕組みとし、その返信を宅配受託者が受け確認するための子局機能を追加した。      委託期間：平成25年3月19日～平成25年3月28日      委託料：745,500円      受託者：日本コムシス株式会社</p> <p>&lt;効果&gt;      ○ 受託事業者において防災情報端末機の子局から安否情報を確認することができることとなり、迅速な対応をすることができる。また、今後、受託者が変更になった場合も子局を移設することによって、安否確認継続することが容易である。</p>
<p>得られた成果 及び自己評価</p>	<p>地域住民・商工業者団体・行政で構成する「びふかニューパブリック協議会」が設立され、主体となって食料品等の宅配と高齢者世帯の見守り、高齢者世帯の生活にかかわる課題解決のための事業を推進した。      昨年度実施した調査等によって、高齢者の生活を支える各種サービスへの要望が少なくないこと、中でも高齢者が気軽に歩み、買い物を楽しむための支援として、買い物後の荷物宅配サービスや、店舗に出向かなくても買い物ができる情報端末機などを利用したサービスの必要性が協議会として共通の認識となったことから、これらの実現に向けた取り組みを行った。</p> <p>買い物の支援対策は、利用登録者数が39名となり、目標としていた50人には届かないものの微増を続けている。24年度の事業実施にあたっては、商工業者をはじめシルバー人材センター、商工会など多様な組織が参画し、宅配事業に対する必要性の理解も得られたことは大きな成果である。利用者からも継続の要望があることから、協議会では25年度以降も事業を行うこととしており、美深町の支援も確立しており、サービスの充実に努めたい。</p> <p>見守りについては、システムを整備したことによって、定期的な確認が実施できる状況となった。しかし、地域自治会や民生委員との役割分担など、一部調整が必要な課題も残っているところであり、25年度以降も協議会による検討を継続し、支援体制を確立を急ぎたい。</p> <p>今後は、こうした民間側のサービスの充実と併せて、行政による交通ネットワークの充実など総合的に住民生活の利便性向上に力を合わせて取り組み、高齢者等が安心して生活することができるまちづくりにつなげたい。</p>

平成 24 年度作成物



宅配用車両(補助対象外)



レジバッグ、保冷バッグ、ブルゾン、番号札



ミニのぼり、ステッカー



のぼり



買い物かご

平成24年度 びふかニューパブリック協議会決算書

1 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較	説 明
負担金補助及び交付金	3,697,000	2,898,928	△798,072	新しい公共支援事業交付金(北海道)
負担金補助及び交付金	3,300,000	1,814,505	△1,485,495	新しい公共支援事業交付金(美深町)
雑入	0	7,715	7,715	利息415円 宅配収入7,300円
合 計	6,997,000	4,721,148	△2,275,852	

2 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較	説 明
諸謝金	225,000	105,485	△119,515	委員費用弁償3回
旅費	100,000	62,640	△37,360	会議等旅費
消耗品費	400,000	377,628	△22,372	事業用消耗品
通信運搬費	10,000	53,460	43,460	切手、郵送料
委託料	3,100,000	2,311,470	△788,530	宅配委託1,562,000円 防災端末設定業務745,500円 ほか
設備費	3,162,000	1,810,465	△1,351,535	車両購入1,572,420円 パソコン216,300円 ほか
合 計	6,997,000	4,721,148	△2,275,852	

収入合計 4,721,148 円 - 支出合計 4,721,148 円 = 0 円

上記のとおり決算する。

平成25年5月27日

びふかニューパブリック協議会会長

監 査 報 告

びふかニューパブリック協議会財務規程第9条第2項に基づき、びふかニューパブリック協議会会長から提出のあった平成24年度の収入支出について監査した結果、適正であったことを認める。

平成25年5月27日

監 査

本 平 武 士



越 智 茂 信



# 平成25年度 行ってみる買い元気カー事業

資料4

## ＜事業概要＞

- 地域おこし協力隊員による事業  
2人募集中  
全国から募集し6月中に活動開始
- 活動拠点事務所の設置
- 宅配カー1台(購入済み)

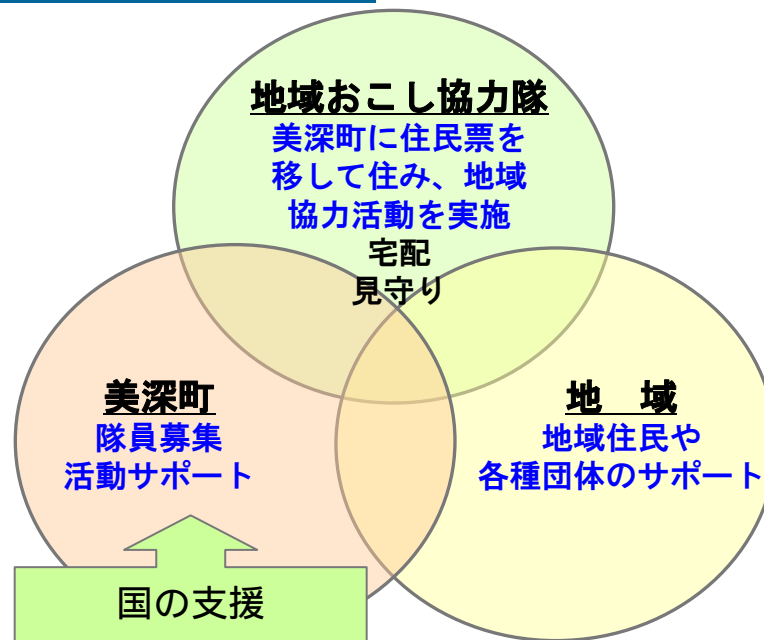
## I 宅配サービス

- ①H25.4.1～7.31 委託による宅配事業  
委託先：シルバー人材センター  
対象者数：40人(H25.5.24現在)
- ②地域おこし協力隊員の着任後は隊員による宅配スタート

**＜配達は1日2回＞**  
午前便は13時から配達  
夕方便は16時から配達

## II 見守り(訪問、声かけ)

- ①対象者を保健福祉Gと協議して選定中
- ②防災情報端末機による安否確認



### ＜地域おこし協力隊とは＞

地方自治体が、都市住民を受け入れ委嘱。地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献。

H24年度～207自治体617人

### ＜期間＞

概ね1年以上最長3年

### ＜地域協力活動の例＞

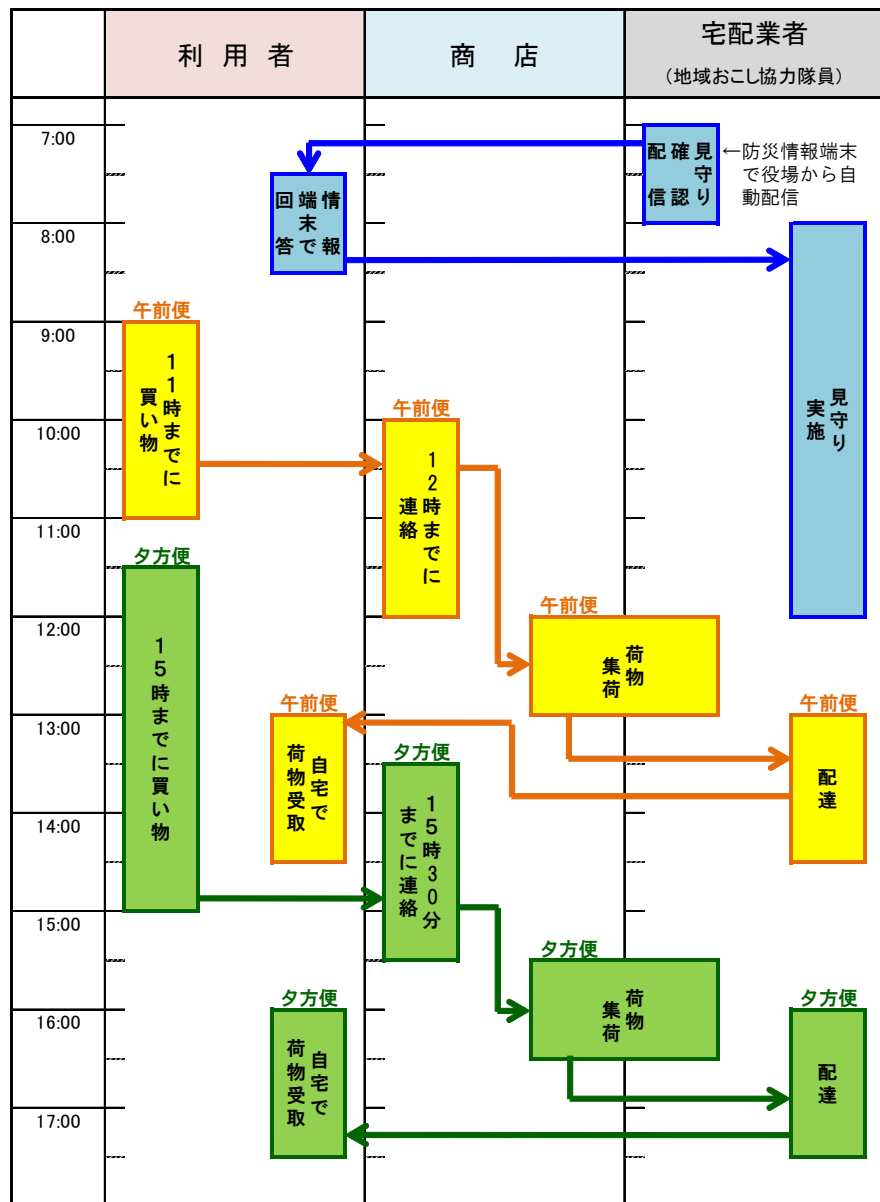
- ・地域おこしの支援
- ・農林水産業従事等
- ・水源保全活動
- ・環境保全活動
- ・住民の生活支援

### ＜財政支援＞

総務省の財政措置あり

# 宅配サービスの一日の流れ

資料4



## <午前便>

利用者～11：00までに買い物  
 商店～12：00までに宅配受付事務所に  
 連絡  
 宅配～12：00から集荷、  
 13：00以降、利用者宅へ配達

## <夕方便>

利用者～15：00までに買い物  
 商店～15：30までに宅配受付事務所に  
 連絡  
 宅配～15：30から集荷、  
 16：00以降、利用者宅へ配達



[ニューパブリック号]  
 この車両で  
 宅配します!

## 平成 25 年度 びふかニューパブリック協議会収支予算(案)

## 1 収入の部

科 目	25年度予算額	24年度予算額	比 較	説 明
負担金補助及び 交 付 金	0	3,697,000	△3,697,000	新しい公共支援事業交付金(北海道)
負担金補助及び 交 付 金	1,247,000	3,300,000	△2,053,000	新しい公共支援事業交付金(美深町)
事 業 収 入	36,000	0	36,000	宅配収入
合 計	1,283,000	6,997,000	△5,714,000	

## 2 支出の部

科 目	25年度予算額	24年度予算額	比 較	説 明
諸 謝 金	135,000	225,000	△90,000	委員費用弁償 2 回
旅 費	0	100,000	△100,000	会議等旅費
消 耗 品 費	100,000	400,000	△300,000	消耗品費、P R 費
燃 料 費	230,000	0	230,000	宅配車両燃料費
通 信 運 搬 費	10,000	10,000	0	郵便料等
委 託 料	800,000	3,100,000	△2,300,000	宅配委託(4~7月)
設 備 費	0	3,162,000	△3,162,000	
予 備 費	8,000	0	8,000	
合 計	1,283,000	6,997,000	△5,714,000	